

地域の催しや明るい話題などが
ございましたら、気軽に広報係
までご連絡ください。
☎43・5003(情報課)



沼島の海上周遊と地質散歩

南あわじ地学の会

沼島で7月9日、南あわじ地学の会主催で様々な形や色をした変成岩を見て、沼島の歴史を学ぶツアーが開催されました。南あわじは地質に恵まれた環境があり、同会はその地学の面白さを広く伝えたいと立ち上がったグループです。今回一般参加も募り、国生み神話が残る沼島の見学会を企画しました。

淡路島と沼島の間には中央構造線が走っており、淡路島

と沼島は全く性質の違う岩石からできています。この見学会では、1億年前の地球のシワと言われる鞘型褶曲や県指定重要文化財である神宮寺の庭園、上立神岩などを見学しました。今回参加した長江時子さん(志知)は「8000万年前に地表に出てきた変成岩を見て歴史へのロマンを感じた。また参加したい」と笑顔で話していました。同会の野田富士樹会長(灘)は、「南



▲神宮寺庭園。山の急斜面の丘陵を利用して構成された築山式枯山水庭園。沼島特有の岩を「人」字形に組み合わせて多用する技法で作られています

淡路の新たな観光の目玉に

淡路のパワースポットをホームページで発信



▲淳仁天皇陵。パワースポットの詳細は鳴門タクシーのホームページ(http://www.narutotx.com/)を参照ください

鳴門タクシー(株)の野口公良社長(賀集)が同ホームページで淡路のパワースポットや観光地の紹介をしています。野口さんは歴史に興味を持ち、淡路の活性化につながると自ら足を運びパワースポット取材しました。そして昨年11月にホームページを開設。論鶴羽神社やおのころ島神社など14か所を紹介し、

由来なども解説。現在4万件を超えるアクセスを記録しています。

身近に行けるスポットとして淳仁天皇陵を挙げる野口さんは「淳仁天皇は政争に破れ淡路に流された。不運だっただけに力強い天皇であった。天皇陵は中には入れないが、近づくだけでも不思議な力を感じるはず」と話します。野口さんは今後もホームページを充実させ淡路の魅力を発信したいとしています。

慶野松原でビーチバレーが開催

東日本大震災チャリティービーチバレー教室



▲市出身の福田千奈美・杉本佳奈美ペア

慶野松原で6月26日、第1回ビーチバレーin南あわじ&東日本大震災チャリティービーチバレー教室が開催されました。同イベントは慶野松原のビーチバレーコートでP

Rし、また地域活性化に繋げようと商工会青年部が企画。雨の中行われた大会では白熱した熱戦が繰り広げられました。同ビーチバレー教室では、地域の子どもたち約50人が参加。ビーチバレーの選手西村晃一さんや菅山かおるさんらが指導しました。

ボールを初めてから7か月の柏木美咲さん(松帆)は、「コツを教えてもらい、バレーが楽しくなってきた」と笑顔で話していました。西村さんと菅山さんは、「子どもたちから元気をもらえた。目的を持ってこれからもバレーを続けてほしい」とエールを送りました。

▲菅山選手から指導を受ける子どもたち

京都で南あわじのハモをPR

ハモ道中出立式

灘の土生港で7月7日、京都へ向かうキャラバン隊の出立式が行われました。同イベントは、祇園祭で賑わう京都でハモをPRするために企画。今年で3回目となります。式典では、淡路島観光協会や沼島漁業組合の関係者約20人が出席し、道中の安全祈願やハモPRの成功を祈りました。7月8日には、京都府の山田啓二知事にハモを届け八坂神社に奉納し、京都の人たちに約200食分のハモすき



▲神事後、京都でのPRの成功を願い、体調80cmのとれたてのハモ3匹を入れた竹かごを平安時代の衣装である狩衣を着て担ぐ関係者

を振舞いました。同組合の寺川光信会長(福

良)は、「沼島沖ハモは色艶がよく、また皮が薄く身がプリツとしている。ハモの魅力を広く知ってもらいたい」と話していました。

沼島の海岸べりで生息

絶滅危惧種のミサゴ

沼島の海岸べりでミサゴのつがいが巣作りをし、子どもを育てているのを、虎沢賢信さん(沼島)が7月に発見しました。ミサゴは兵庫県のレッドデータブックではAランクの絶滅危惧種。タカ科で頭と腹が白く、目を通って首に達する黒褐色の線が走っているのが特徴で、山地や岩場に巣をつくり生息しています。

虎沢さんは「ミサゴとは20年以上の付き合いでよくカメラで撮影しに行く。無事子どもたちには育ってほしい」と話していました。



▲虎沢さんは船から400mmのレンズを使いカメラで撮影しています。写真は7月3日に虎沢さんがミサゴの子どもを撮影したものと

全国大会出場

おめでとう

◆ビーチバレー
伊藤 遥さん
大橋 玲那さん ペア
安川 千晶さん
南 葉留香さん ペア

6月の県大会で淡路三原高校の2組が優勝・準優勝し、8月11日から開催されるビーチバレージャパン女子ジュニア選手権大会に出場します。

ウエイトリフティング

里深 瑞季さん(淡路高校)
6月の近畿大会で優秀な成績を収め、7月23日に行われる全国高等学校女子ウエイトリフティング競技選手権大会に出場しました。



▲中田市長から激励を受けた里深さん(同右)、伊藤さん、大橋さん、安川さん、南さん(前列左から)

◆柔道
長尾 嘉也さん(育英高校)
長尾さんは県大会で団体優勝し、8月9日に行われる全国高等学校柔道大会に出場します。



▲長尾嘉也さん

◆サッカー

船木 茂浩さん(松帆)
船木さんは、50歳以上の県選抜チームの一員として5月に近畿2府4県の代表らによる関西予選に出場し優勝しました。そして、6月25、27日に開催された第10回全国シニアサッカー大会に県選抜チームの一員として出場しました。

兵庫県保健衛生連合会・会長表彰

県保健衛生大会が7月に行われ、保健衛生・環境美化に積極的に取り組んだ方々が表彰されました。
浦辺 謙一さん(福良)
西村 公一さん(福良)
松原 博文さん(福良)

水しぶきを上げて練り歩く

福良の水掛け祭り

福良で7月17日住吉神社夏越祭りが行われ、20歳の若者が御輿を担ぎました。同祭りは家内安全や豊漁、海上安全の祈願、また成人になった人たちが、社会に出て更なる活躍を祈るという古くから行われている恒例行事。別名「水掛け祭り」といわれ、道中、暑気払いにと、沿道の人たちから水が掛けられました。

街中に点在する神社を参拝し、福良漁業組合前から御輿と一緒に船に乗り洲崎蛭子神社～鳴門海峡へ巡航しました(広報表紙に同記事あり)



▲沿道からはたっぷりの水を受け、若者たちは掛け声を上げながら巡行しました